

学 習 指 導 案

科 目	ビジネス基礎	単元名	第2章経済と流通の基礎 1 経済のしくみとビジネス
単元の目標	経済主体が果たす役割を理解し、経済に関する基礎的な知識を身に付ける。		
本時の目標	生産要素の希少性やトレード・オフなど、経済に関する基礎的な知識を身に付ける。		
本時の目標 (評価規準)	①希少な生産要素から最大の利益を出すにはどうしたらよいか仲間とともに考察しようとする。【思考・判断・表現】 ②経済の基礎的な知識について理解している。【知識・理解】		
過程	指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容「経済の基礎的な知識について学習する」ことを説明する。 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Q1 「経済」とは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問に対し、思ったことを発言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 4人程度のグループにさせる。 思ったことを自由に発言出来るようにする。 モノ、サービス、お金、労働力などが経済主体の間を行きかうことを簡単に説明する。
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基礎 経済の基礎的な知識について学習 生産要素について学習 希少性について学習 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Q2 スマホを製造するには何が必要ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> スマホを製造するために必要なものをグループで話し合い、付箋1つに1項目を出来る限りたくさん記入する。 出た項目を分類し、紙に貼りまとめる。 そのように分類した理由を発表する。 分類した項目がどの生産要素にあたるか考え、再度「土地・資本・労働力」に分類する。 生産要素に限りがあること（希少性）について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活発に意見が出るように机間巡視をする。 出た項目を分類させ、なぜそのように分類をしたのか発表させる。 「土地」という生産要素は天然資源をさすことを理解させる。 スマホの需要が増え続けても、生産要素には限りがあり、供給するには限度があることを、天然資源を例にあげ（新聞記事などを用いる）、「希少性」について理解させる。
	<ul style="list-style-type: none"> トレード・オフ 機会費用について学習 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Q3 ここにあげられた条件から、どちらのスマホをどれだけ生産販売しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> あげられた条件から、グループで話し合い、どちらのスマホをどれだけ生産販売するか検討し、意思決定する。 わかりやすく紙にまとめ発表する。 トレード・オフ、機会費用について理解し、自分たちの意思決定におけるトレード・オフ、機会費用は何でいくらなのか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活発な話し合いができるよう指導をする。 代表者に発表させる。 <p>【評価】 希少な生産要素から最大の利益を出すにはどうしたらよいか仲間とともに考察しようとする。</p> <p>【評価方法】（目標①） 行動観察</p> <ul style="list-style-type: none"> トレード・オフ、機会費用について説明し、グループで出した意思決定におけるトレード・オフ、機会費用について考察させる。 企業が希少な生産要素を効率的に使い、製品を製造販売していることを理解させる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめ 次時の予告 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した経済の基礎的な知識をワークシートにまとめる。 	<p>【評価】 経済の基礎的な知識について理解している。</p> <p>【評価方法】（目標②） 行動観察・ワークシート</p>